



学校便り

室神山

令和2年11月18日号

江津市立江津東小学校

校長 小田 公弘

2学期も後半に入りました。予定していた学校行事も順調に実施できています。これからさらに寒くなりますが、体調に気をつけ、残りの一月あまりを元気に過ごして欲しいと思います。ご家庭でも体調管理等、気をつけて生活できますよう声かけの方よろしくをお願いします。

修学旅行の実施

10月22日～23日に修学旅行（6年生参加）を実施しました。当初の予定では、5月下旬に広島方面に行く予定でしたが、コロナ感染予防のため、2学期に実施となりました。今年度は、修学旅行も取り止める学校もあるように聞いていますが、無事に実施できほっとしています。松江・出雲方面への旅行でしたが、県内の歴史や文化にしっかり触れ、新たな発見・体験もできた旅行となりました。6年生にとっても、小学校生活の良い思い出になったことと思います。



6年生の修学旅行の様子から 10月22日～23日（松江・出雲方面）

授業公開日の実施

10月27日に、今年度、最初の授業公開日を行いました。当日は、来校頂きまして、ありがとうございました。一学期は、実施できませんでしたが、今回子どもたちの学習の様子も見て頂くことができました。子どもたちも、お家の方に見てもらえることを楽しみにして、はりきって授業を受けている子が多いように感じました。



授業公開日の様子から

「スマホ・ケータイ安全教室」

また、この日の午後には5・6年生、保護者の皆様を対象にした、「スマホ・ケータイ安全教室」をKDDIより講師の方をお招きし実施しました。これからの時代、

そうした、機器の使い方について、正しく理解し、上手に使っていくことが大切だと感じています。こうした、メディア教育も、今後繰り返して行う必要性も感じています。

学習発表会の実施

11月14日に学習発表会を実施しました。今年度は、コロナ対策として、見て頂く方の人数を制限させて頂きました。色々な行事で、制限することが多く、地域の皆様には申し訳なく思っていますが、今年度につきましては、この情勢を鑑みご配慮頂ければと思います。



1年生の発表の様子から 2年生の発表の様子から

発表内容は、今年度も、それぞれの学年で学習してきたことや、学習の成果をいかしたことを発表しました。発表の仕方も例年とは少し違って、制限されることもありましたが、それぞれの学年で、練習してきた成果を頑張っ発表することができていました。



3年生の発表の様子から

4年生の発表の様子から

5年生の発表の様子から

6年生の発表の様子から

全国学力調査結果から

例年4月に実施される全国学力・学習状況調査ですが、今年度は、コロナ禍の影響で全国では実施されませんでした。同じ問題・調査用紙を活用し、江津市として、7月に小6年生、中3年生を対象に実施されました。本年度は、国語、算数の実施となりました。

本校の状況を見ると、国語・算数ともに、市の正答率の平均をしたまわる児童が半数より少し多いという結果でした。国語、算数別に課題をみると、

○国語では、「書かれていることについて、事実と感想・意見を区別すること、示された条件（言葉や文献の引用の仕方・文字制限）に沿って書くこと」ができてない。

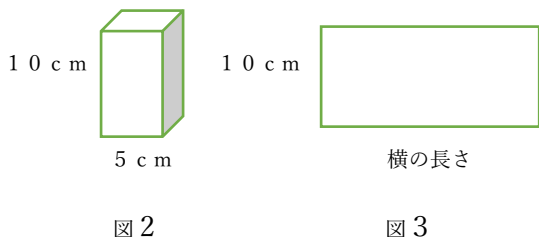
○算数では「設問の内容をとらえることができていないため、十分な説明ができない。示された条件（模範解答に沿って説明する・言葉と式を用いる）に沿って書くこと」ができない。

という課題がみえてきました。一方、国語・算数ともに無回答率は下がっていました。頑張っ問題に向き合おうとする意欲も表れていました。出題された問題の一部を紹介します。

問題 図2の四角柱は底面が正方形で、図2の四角柱のすべての側面に紙を貼るためには、図3のような1枚の大きな長方形の紙の長さを、どのくらいの長さにすればよいのかを考えます。

図3の長さは、次のように求めることができます。求め方⇒ $5 \times 4 = 20$ だから、答えは20cmです。

図2の四角柱について、求め方の「 5×4 」は、どのようなことを表していますか。「5」と「4」が何を表しているのかがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。



(模範解答例)

5は、底面の1辺の長さが5cmであることを表しています。

4は、底面の1辺の長さが4つ分であることを表しています。

だから、 5×4 は、底面の1辺の長さ5cmが4つ分あることを表しています。

この問題では、示された数値の根拠を、数学的用語や図形の構成等にこだわっ回答することが求められています。これは、基礎的・基本的な知識・理解はもちろん、それを活用し説明する力が必要となります。また、問題の題意を正確に読み取ることも大切です。

今回の結果を受け、本校でも子どもたちの弱みの改善に向け、引き続き基礎・基本の習得並びに習得した知識・技能を活用していく力の育成を目指していきたいと考えています。また、学習したことを定着させていくためには家庭学習も大切だと考えています。家庭学習については、保護者の皆様にもご協力をお願いすることもあると思いますが、引き続きご理解、ご協力の程よろしくお願ひします。